

エコアクション21

2013年度 環境活動レポート

(2013年4月～2014年3月)

2014年6月10日 作成

八幡電機精工株式会社

I. 事業の概要

1. 事業所

- (1)名称 八幡電機精工株式会社 本社及び工場
(2)所在地 〒807-0801 北九州市八幡西区大字本城2805番地
TEL: 093-691-2331 FAX: 093-603-2556
<http://www.yawata.co.jp>

2. 関連事業所

- (1)名称 若松工場
(2)所在地 〒808-0109 北九州市若松区南二島4-13-14
TEL: 093-701-0500 FAX: 093-701-0506

3. 代表取締役社長 菊竹浩和

4. 環境管理責任者氏名及びEA21事務局担当者の連絡先

- (1)責任者 環境管理責任者 総務部長 栗野泰志
(2)担当者 EA21事務局 総務部 信近竜也
(3)連絡先 TEL: 093-691-2331 FAX: 093-603-2556

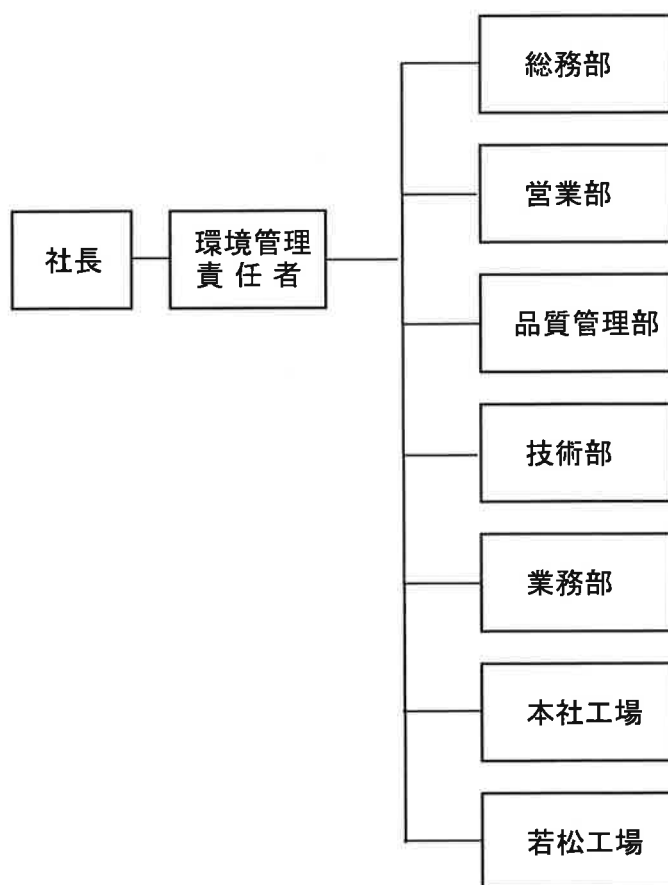
5. 事業内容

- (1)業種 電気機械器具製造及び販売業
(2)主力製品 [回転機]
・発電機(エンジン発電機・高周波電動発電機・直流発電機)
・電動機(かご形モータ・直流モータ・巻線形モータ・船舶用モータ)
・可変速電動機(インバータモータ・VSモータ・高速スピントルモータ)
・制御用電動機(ACサーボモータ・DCサーボモータ・半導体装置用モータ)
[自動機械・装置]
・発電装置(周波数変換装置・車載発電装置)
・病院設備(注射薬自動払出装置)
・水産設備(魚体選別機・ホタテ貝穴あけ機)

6. 事業規模

活動規模	単位	2011年度	2012年度	2013年度
売上高	百万円	2,665	2,690	2,548
従業員	人	160	158	159
敷地面積	m2	22,014	22,014	22,014
工場床面積	m2	6,237	6,237	6,237

7. 組織図



※ エコアクション21の取り組み範囲は全社を対象にします。

II. 環境方針

《環境方針》

I. 基本理念

八幡電機精工株式会社は、モーターや発電機およびそれらを応用した装置製品の製造・販売の事業活動の中で、地球環境に配慮した企業となるために、次の行動指針を定め行動します。

II. 行動指針

1. すべての事業活動の中で省資源・省エネルギーに努め、環境負荷の軽減に努めます。具体的には次の6項目を全員で取り組みます。
 - ① 電力、化石燃料類の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を抑制します。
 - ② 廃棄物の削減および分別収集により、環境負荷低減とリサイクルに努めます。
 - ③ 水使用量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した部品や商品などのグリーン調達およびグリーン購入を推進します。
 - ⑤ 化学物質の使用量を削減し、環境負荷低減に努めます。
 - ⑥ 製造時の仕損削減に努めます。
2. 環境関連法規および当社が同意した各種協定を遵守します。
3. 環境方針を全職場に掲示し、すべての従業員に周知徹底します。
4. 環境教育や社内広報活動などを行い、環境保全活動の周知徹底に努めます。

2013年3月21日 改定

八幡電機精工株式会社

代表取締役社長 菊竹浩和

Ⅲ. 環境目標

1. 2009年度以降の目標

(1) 2013年度以降は2010～2012年度の平均実績値をベースに毎年1%削減を目標とした

必須項目 (2010～12年度の実績値をベースとして削減する)	単位	2010～2012年度 平均実績	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2/百万円	536.9	531.5 (1%)	526.1 (2%)	520.8 (3%)
廃棄物総排出量の削減	Kg/百万円	19.77	19.57 (1%)	19.37 (2%)	19.18 (3%)
総排水量の削減	m3/百万円	0.880	0.871 (1%)	0.862 (2%)	0.853 (3%)
グリーン購入の推進	品目総数 (新規追加品目)	7.7	5	5	5
化学物質排出量の削減	Kg/百万円	3.246	3.213 (1%)	3.181 (2%)	3.148 (3%)

Ⅳ. 主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出量の削減の取組み

(1) 電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度の管理
- ② エアコンフィルターの定期清掃の実施
- ③ 事務所および工場屋根遮熱塗装の実施
- ④ 事務所および工場遮熱フィルムの設置
- ⑤ 昼休みの消灯
- ⑥ 省エネ型空調の導入
- ⑦ コンプレッサーのエア漏れチェックおよび省エネタイプに更新
- ⑧ トイレ、更衣室、厨房等の蛍光灯のこまめな消灯
- ⑨ 節電のポスター掲示
- ⑩ LED照明機器への更新
- ⑪ 電化製品購入時の省エネ品選択
- ⑫ 電気炉の効率運転による節電

(2) ガソリン、軽油、重油使用量の削減

- ① 自動車のエコ運転(ガソリン、軽油)
- ② 設備整備による燃費向上(重油)
- ③ 焼鈍炉活用時間の効率化(重油)

2. 廃棄物排出量の削減の取組み

(1) 金属クズの削減

- ① 機械加工工程で排出される金属クズの分別収集を実施する
また有価物として売却した金属クズについては対象外とする

(2) 紙クズの削減

- ① 全社に紙専用BOXを設置し分別収集を実施する
また有価物として売却した紙クズについては対象外とする
- ② 裏紙の再利用
- ③ 両面コピーの推進
- ④ ペーパレス化の推進
- ⑤ 段ボールの分別収集実施
- ⑥ コピー機に製本機能追加し、複数枚コピー時の紙の使用数削減

3. 総排水量の削減の取組み

- (1) 節水による削減
 - ① 水漏れチェック
 - ② 節水駒の設置

4. グリーン調達及び購入の推進の取組み

- (1) グリーン調達及び購入の推進
 - ① エコ商品への要求に対する現状把握
 - ② エコ商品への積極的切替

5. 化学物質排出量の削減の取組み

- (1) 化学物質の削減
 - ① 塗料は在庫管理の強化により期限切れ廃棄塗料の削減
 - ② 洗浄液の濾過器設置による購入量削減

6. 製造時の仕損削減の取組み

- (1) 帳票類の有効活用による仕損工数削減

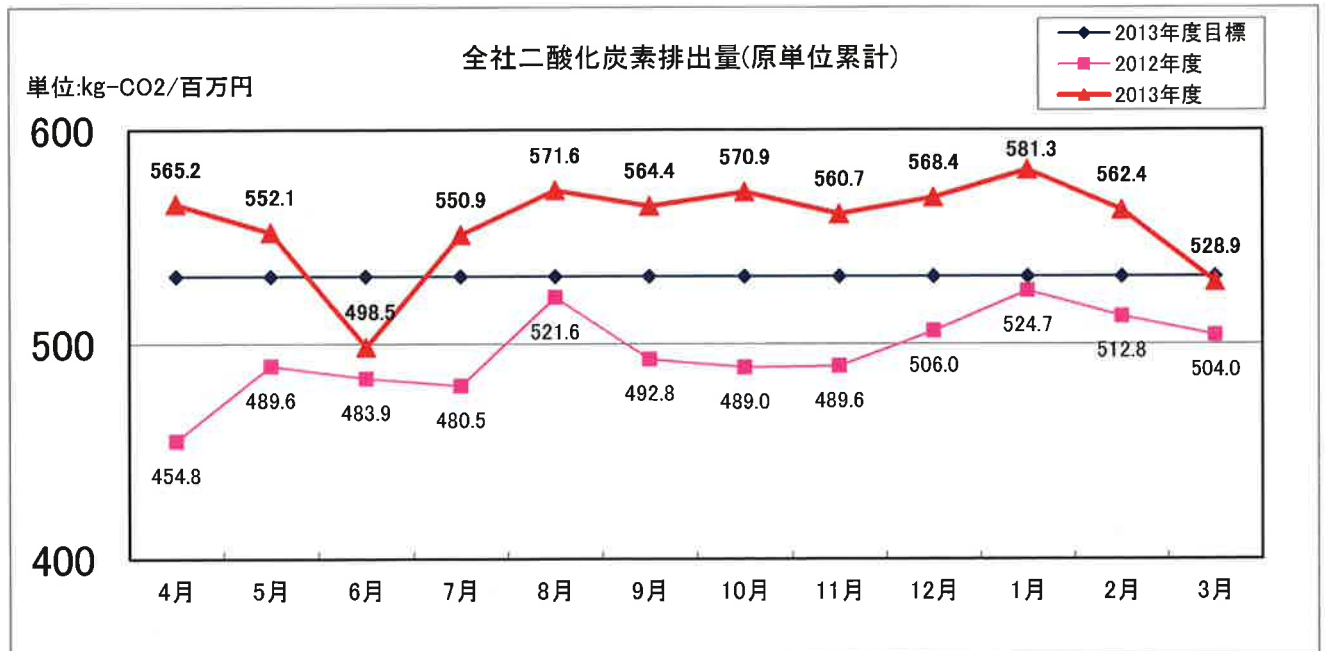
7. 環境保全活動の取組み

- (1) 正門周辺の清掃、工場外周の除草作業

V. 環境目標の実績

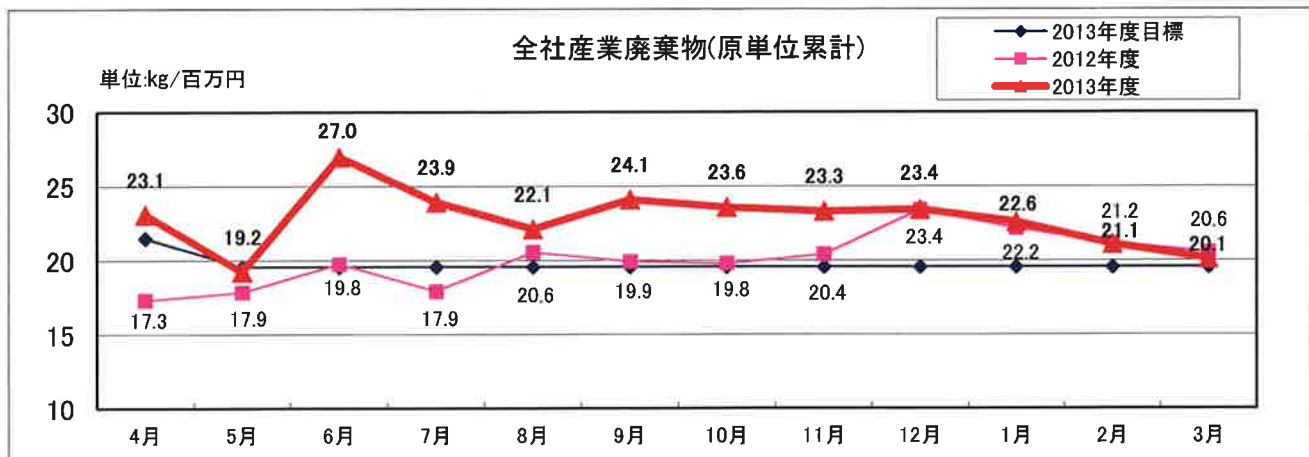
1. 二酸化炭素排出量の削減・・・目標達成

目標(531.5kg-CO₂/百万円)
実績(528.9kg-CO₂/百万円)



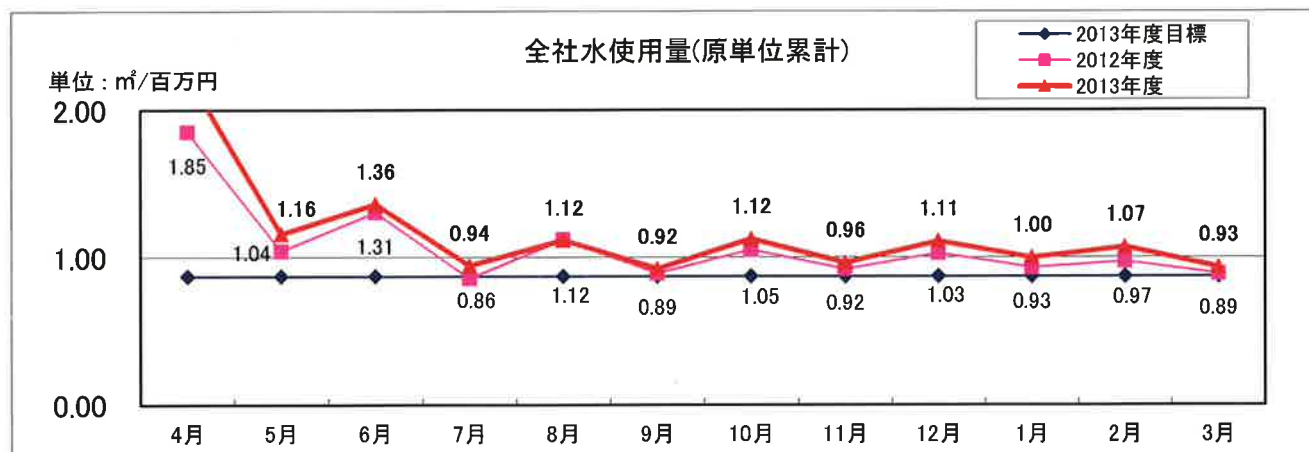
2. 廃棄物総排出量の削減・・・目標未達成

目標(19.57kg/百万円)
実績(20.1kg/百万円)



3. 総排水量の削減・・・目標未達成

目標(0.871m³/百万円)
実績(0.930m³/百万円)



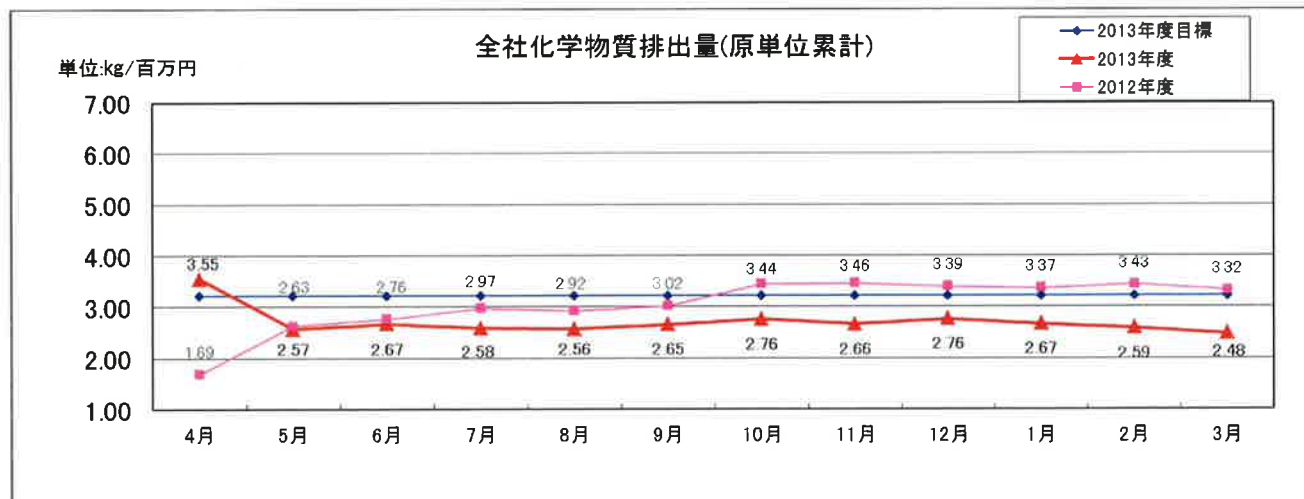
4. グリーン調達および購入の推進・・・目標達成

目標(新規品目5件)
実績(新規品目20件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規切替件数	0	1	1	1	3	2	0	3	2	5	1	1	20
累計切替件数	0	1	2	3	6	8	8	11	13	18	19	20	

5. 化学物質排出量の削減・・・目標達成

目標(3.213kg/百万円)
実績(2.481kg/百万円)



VI.環境活動の取組結果の評価

2013年度については、IV項の環境活動を着実に実施しました。
実績については次の通りです。(下表参照ください)

必須項目	負荷量	2012年度 実績	2013年度			
			目標(A)	実績(B)	(B)/(A) (%)	
年間売上高	(単位:百万円)	2,690		2,548		
二酸化炭素排出量	総量(Kg-CO2/年)	1,355,484		1,347,274		
	原単位(Kg-CO2/百万円)	503.9	531.5	528.8	99.5	
主要 項目	電力使用量	総量(Kwh)		2,524,467		
		原単位(Kwh/百万円)	940.4	993.9	990.8	99.7
	A重油使用量	総量(リットル)	8,400		8,400	
		原単位(Kwh/百万円)	3.1	2.71	3.30	121.6
ガソリン使用量	総量(リットル)	6,580		6,063		
	原単位(Kwh/百万円)	2.4	2.56	2.38	92.9	
軽油使用量	総量(リットル)	3,343		3,010		
	原単位(Kwh/百万円)	1.2	1.89	1.18	62.5	
廃棄物総排出量	総量(Kg/年)	54,315		51,240		
	原単位(Kg/百万円)	20.2	19.57	20.1	102.8	
総排水量	総量(m3/年)	2,393		2,377		
	原単位(m3/百万円)	0.89	0.871	0.933	107.1	
グリーン調達及び 購入の推進	品目総数(新規調達)	9	5	20	400.0	
化学物質排出量 の削減	総量(kg/年)	8,936		6,322		
	原単位(Kg/百万円)	3.32	3.213	2.481	77.2	

※二酸化炭素排出係数は九州電力の平成23年度の係数(0.503)を使用しております。

1. 二酸化炭素排出量の削減

2013年度は2010～2012年度の平均実績値をベースに1%削減を目標とした。第3～6工場の照明をLED照明へ更新したことにより目標を達成できましたが、売上高減少にと夏場の空調分の電力使用量増加により対前年比4.9%アップとなった。

[主な活動]

(1) 電気使用量は、第3～6工場と若松工場の水銀灯および蛍光灯照明機器をLED照明機器へ更新、また古い冷蔵庫も省エネタイプの冷蔵庫に更新した。蛍光灯のこまめな消灯やエアコンの温度管理、節電徹底のためポスター掲示を行った。事務所蛍光灯キャビスイッチ付に更新でこまめな消灯、電気炉の効率運転による節電を行い、目標を達成することができました。

(2) A重油使用量は、効率的運転の強化をしましたが、他社分の焼鈍増加で焼鈍運転時間の増加により、A重油購入量が減少できず、目標を未達成となりました。

(3) ガソリン使用量は、電気自動車導入によるガソリン使用量削減、社用車のエコドライブの実施や高燃費社用車優先使用により、目標を達成することができました。

(4) 軽油使用量は、エコドライブの推進により目標を達成することができました。

2. 廃棄物排出量の削減

紙の分別を強化しましたが、5Sを強化し不要な備品を廃棄したことにより目標を未達成となりました。総排出量については、ほぼ前年並みとなった。

[主な活動]

(1) 紙クズについて、紙専用BOXを製造現場に設置し紙の分別収集強化とパトロールを実施しましたが、目標を未達成となりました。

3. 総排水量の削減

節水の徹底をしましたが、目標を未達成となりました。売上高減少により対前年比4.8%アップとなった。

[主な活動]

(1) 水道の蛇口の閉め忘れチェックと節水のポスター掲示を行った。

(2) 漏水箇所の速やかな補修を行った。

4. グリーン調達及び購入の推進

グリーン調達及び購入の推進強化により、目標を達成しました。

5. 化学物質排出量の削減

2013年度よりエポキシ樹脂が対象外となったため、目標を達成しました。対前年比25.3%ダウンとなった。

[主な活動]

- (1) 塗料の在庫管理強化により、廃棄塗料の減少の推進。
- (2) 洗浄液は、洗浄液用の濾過器を設置し、洗浄液を再使用した。

6. 環境保全活動の取組み

環境保全活動として、会社周辺の側溝のゴミ拾いおよび除草作業を実施した。

VII. 次年度の取組み内容

ここ数年で、大型の加工機械を導入したため電力使用量が増加傾向になっています。そのため、次年度も二酸化炭素排出量削減(電力使用量削減)について重点的に進めていきます。設備面では、老朽化した空調や受電設備の更新の検討や焼鈍炉の都市ガス化など設備的な見直しも計画的に進めていきます。各項目の取組みについても強化し、すべての項目で目標を達成できるよう努力していきます。

VIII. 違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に関わる環境関連法規等の違反は過去3年間はありません。また、関係機関からも特に指摘はなく、訴訟および苦情についてもありません。

IX. 経営の全体の評価と見直しについて

2013年度は、売上高減少により目標を達成できていない項目がありますが、総量についてはほとんどの項目で前年度を下回る結果となりました。2014年度はすべての項目で目標をクリアできるよう活動を強化してまいります。2013年度は数年前から補助金などを活用して進めてきました、工場照明のLED化が完了しました。消費電力は約半分で照度が約3倍になり、作業性も向上しております。2014年度も老朽化した空調設備や受電設備の入替などを行い電力使用量を減少させていくほか、従業員に対しても節電や節水の教育を行い、省エネ化の取組みを定着させていきます。

エコアクション21の活動で省エネが進むことにより、ここ数年経費節減についても、とてもいい結果ができています。今後もエコアクション21を経営の最重要課題として、取組を強化してまいります。

八幡電機精工株式会社
代表取締役社長 菊 竹 浩 和